

パブリック・コメント  
「第三次丸亀市総合計画（骨子案）」に関する意見

## 1. パブリック・コメントの概要

意見提出期間 令和7年10月6日（月）～令和7年11月4日（火）

意見提出者数 3名（オンライン）

意見提出件数 5件

## 2. 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>第3章 未来をカタチにするアクション</p> <p>基本方針I：心豊かな子どもが育つまち一基本施策2：子どもの教育の充実について</p> <p>子どもの教育に関わる教師の質が低下しているように感じます。現に、私の息子は教師による行き過ぎた指導が原因でPTSDと診断されました。しかしながら、その事実が学校やその教師に理解されず、復学が何度も阻害され、現在も不登校が続いています。</p> <p>また、丸亀市教育委員会からは「低学年で教育支援センター『遊々』に通うと学校へ戻れなくなる」という理由で、センターへの通所を許可してもらえませんでした。更には、学校から自宅へのタブレット貸与を希望しても認められず、その他の学習提供もなく、約1年間、義務教育を受けたくても受けられない状況が続いています。</p> <p>丸亀市教育委員会、学校、市役所、その他子どもの人権を扱う複数の機関に相談しましたが、軽視され、現状は変わらないままです。市の広報紙にはキラキラした内容が掲載されていますが、実際には一人の子どもが教育を受けられ</p>	<p>丸亀市では、「すべての子どもたちの自立と共生を育み、輝かしい未来の担う創り手となることができるよう、まち全体で子どもを育てる環境づくりに取り組む」ことを教育大綱の基本理念に掲げています。この基本理念のもと、「他を想い 自ら磨き 共に伸びる」という丸亀市教育方針を設定し、すべての子どもたちが誰一人取り残されることなく、幸せを感じながら過ごし未来に迎えるよう、学校・家庭・地域が連携し一体となって子どもたちを育てることを大切にしています。</p> <p>学校では、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門スタッフが連携し、お子様の状況に応じた対応を行っています。また、市教育委員会では、令和6年度から「人づくり石垣プロジェクト」に取り組み、その大きな柱の一つに「不登校対策」を掲げ、子どもたちへの支援体制の構築と強化に重点を置いています。</p> <p>そして、これは、学校だけで解決できるものではありません。学校・家庭・地域が手を携え、ともに同じ方向を向いて歩むことで子どもたちが安心して成長できる道筋を築いていくことが重要であると考えます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>ず、放置され続けています。</p> <p>元気に学校へ通うこどもたちだけでなく、不登校のこどもたちの実態にもしっかりと目を向け、声を聞き、丸亀市内のすべてのこどもたちが笑顔で過ごせる環境を整えて欲しいと思います。そして、こどもたちにとって大人の手本となるよう、教育に携わる先生方には、心を傷つける指導ではなく、心を育てる言葉遣いや教育を実践していただきたいと切に願います。総合計画には、理想論ではなく、現実的に可能な具体策を記載していただきたいと思います。</p>	<p>この度いただきましたご意見を参考にしながら、本市の教育のさらなる充実をめざしていきたいと考えております。</p>
2	<p>基本方針 I : 心豊かなこどもが育つまち一基本施策 2 : こどもの教育の充実ー 主要な取組 8 : 学校給食による食育の充実について</p> <p>息子の付き添い登校をして感じたことは、給食の量が少ないと感じることが多かった点です。特に野菜の量が本当に足りているのか、親として心配になることが度々ありました。私のこどもは決して大食いではありませんが、毎回「足りない」と言っていました。必要摂取量が満たされているのであれば問題ありませんが、疑問に思ったので記載しました。</p>	<p>丸亀市では、こどもたちに安心で充実した食の環境を整えるとともに、さらなる食育の推進を図るため、学校給食費の無償化を実施するなど力を入れています。また、献立や食事の量については、栄養教諭が児童生徒の年齢や必要摂取量を考慮し、栄養バランスを確保したうえで計画しているところです。</p> <p>ご意見のとおり、その日の食材や献立の内容により、量が少ないと感じる場合もありますが、全体として必要な栄養が満たされるよう管理しております。</p>
3	<p>概ねいいと思います。</p> <p>普段ニュースなどを見ていて、少子化対策に関心があります。「もっと産みたくなる状況」とはどんなものだったのかと考えます。</p> <p>若い人、とくに学生は出産を思い悩む人が多いでしょう。世間体もしんどいでしょうが、産める環境があればいいなと思います。</p> <p>すごく若い人が産める環境は、そのままシングルマザーや若い夫婦の環境にもつながります。赤ちゃんポストは極端ですが、レスキュー的な相談窓口は入りやすくあった方がいいと思います。</p> <p>学生ママ、シングルマザー、祖父母のサポートがない若い夫婦、そして若くないキャリアのある共働き夫婦、こうした人たちのニーズは、昼間から夕方の保育、特に乳児を見もらえることだと思います。</p>	<p>少子化対策は全国的な重要課題であり、本市においても、結婚・妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援に取り組んでいるところです。</p> <p>今回の総合計画では、「少子化対策の推進」を主要な取組の一つとして掲げており、ご意見も参考に、より一層、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを進めていきたいと考えています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
	<p>学生ママには生活費のための奨学金や住居補助も必要です。</p> <p>母親が必要な時期があることはわかりますが、それが一番のネックになっていることをよく考えてほしいです。ここにお金をかけないと、少子化対策とは言えないのではないかでしょうか。</p> <p>ヘルパー的な病児保育も、無料くらいの補助でしっかりやってほしいです。</p> <p>たくさんの子どもがあふれるほど生まれ、未来の納税者が増えることをお祈りします。</p>	
4	<p>ひとをイキイキさせるまち・丸亀として、教育に力を入れてほしいと思います。丸亀城周辺は、マルタスができたことで中学生や高校生がたくさん勉強しに来ています。そのため、学生が多く集まることで、より文教地区らしくなってきたと感じています。</p> <p>丸亀城周辺には丸亀高校や大手前丸亀高校があり、四国屈指の文教地区であると認識しています。例えば、大手前丸亀高校は四国内の高校の中でも医学部入学率が高いと伺っています。</p> <p>こうした特徴を活かし、県内だけでなく県外からの医学部志望のご家族を誘致できれば、より一層文教地区としての魅力が高まり、県外からの移住者も増えると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、マルタスの開館により、中高生や子育て家庭、お年寄りまで多様な人が集う場ができ、それが丸亀の魅力の1つとして、市外の人をも惹き付けるようになっています。</p> <p>今回の総合計画では、基本方針の1つに「VI 誇り愛されるまち」を加え、シティブランディングやシティプロモーションを強化することとしており、丸亀の魅力を活かして、移住者や関係人口の増加等、成果に繋げていきたいと考えています。</p>
5	<p>丸亀駅から商店街を抜けて丸亀城に向かう動線は、とても風情があると感じます。</p> <p>更に、丸亀駅には美術館がありアートを感じられ、丸亀城では歴史を感じることから、丸亀は「芸術のまち」として認識されています。</p> <p>加えて、城泊サービスがスタートし、外国人にも丸亀がより広く知られるようになっています。</p> <p>一方、商店街ではハロウィンなどのイベントが開催され、若者が集まる機会があります。</p>	<p>これまで本市では、大手町地区4街区の再編整備を進めるとともに、ウォーカブルなまちなかづくりを志向し、地域資源を生かした活性化策に取り組んできました。</p> <p>しかしながら、商店街の活性化、中心市街地の活性化という課題の解決には至っておらず、さらなる取組が求められると認識しています。</p> <p>今回の総合計画でも、「3 まちなか再生と均衡のとれた都市の発展」を基本施策に位置付け、引き続き、重点的に取り組んでいかなければならぬと考えています。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
	しかし、もっと商店街を活性化させ、若者が普段から集まるような町にしていくべきだと考えます。	